

## 4 地球環境関係データ

### ■概要

#### (1) 大阪府域における温室効果ガス排出量の推移

府域における2020（令和2）年度の温室効果ガス排出量は4,375万トン（CO<sub>2</sub>換算）です。前年度と比べると1.6%増加しており、その主な要因としては、電気の排出係数の増加が挙げられます。また、2020年度の二酸化炭素排出量は3,936万トンであり、前年度と比べ1.5%増加しています。

※ 電気の排出係数とは、使用電力量 1kW当たりの二酸化炭素排出量を表す係数

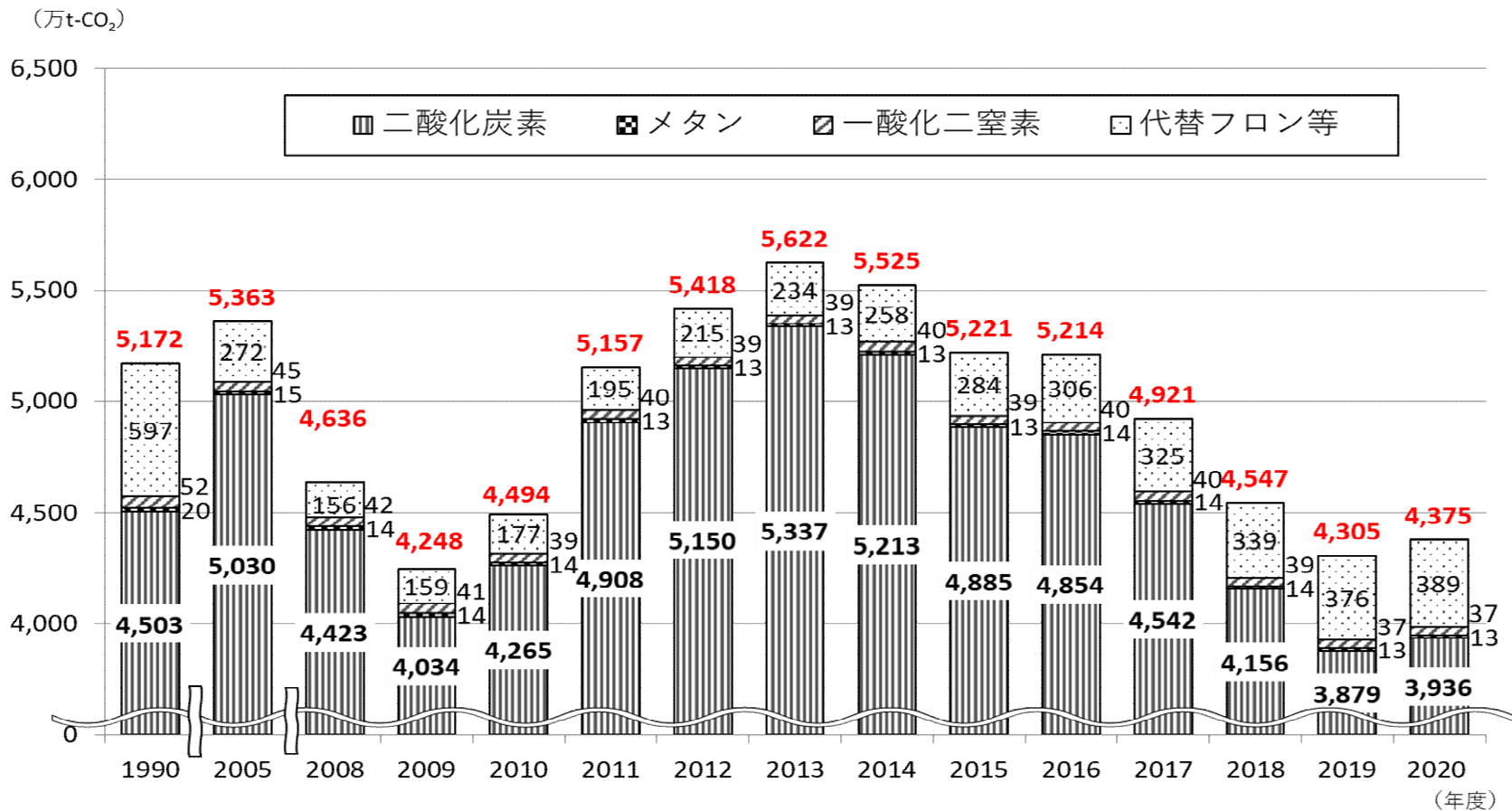
#### (2) 大阪府域におけるエネルギー消費量の推移

2020（令和2）年度のエネルギー消費量は498PJ（ペタジュール）※であり、前年度と比べ2.9%減少しています。

※ J（ジュール）はエネルギーの単位。PJ（ペタジュール）は $10^{15}$  Jを表す。

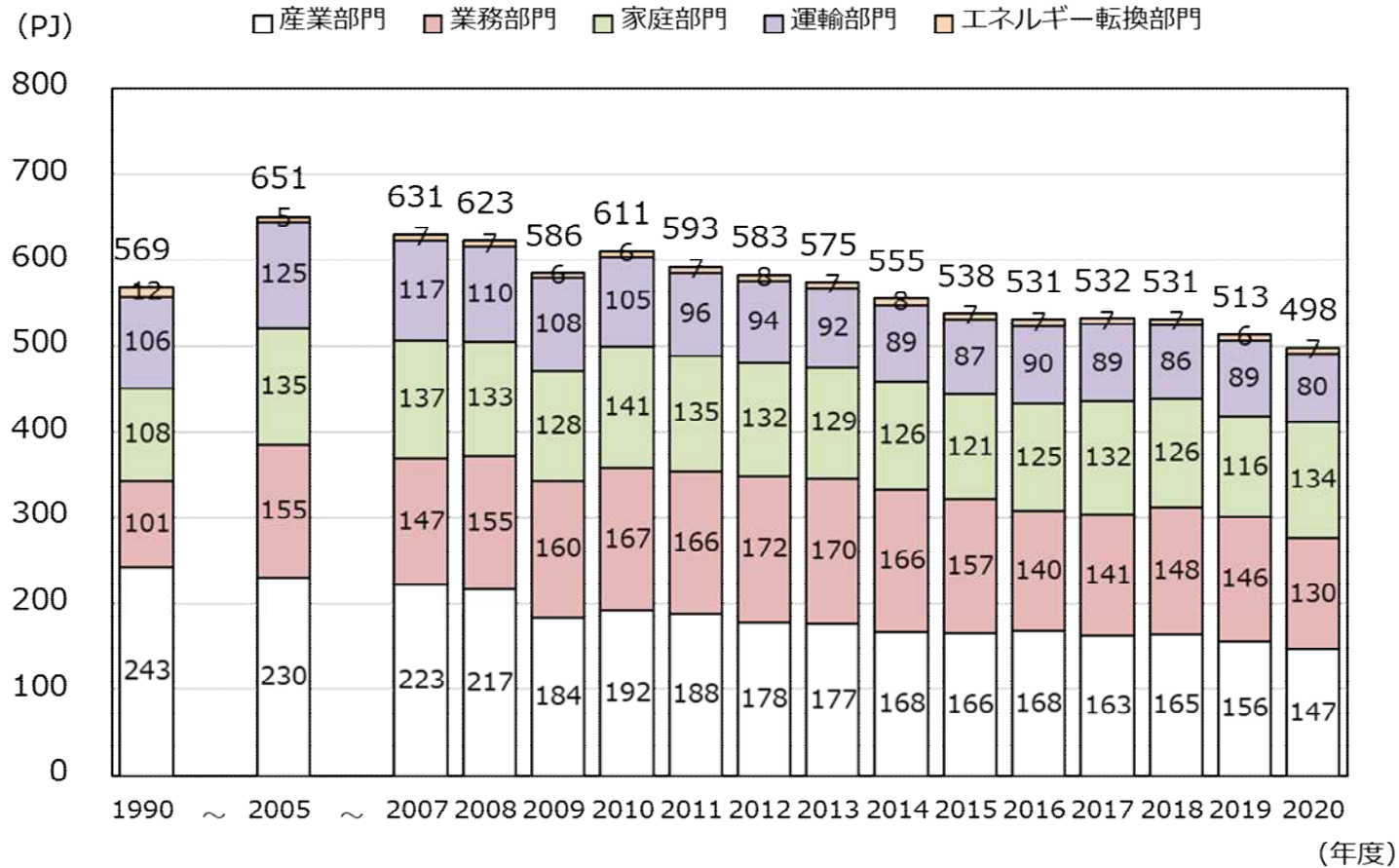
#### (3) 再生可能エネルギー等の導入実績

府における再生可能エネルギー等の導入実績（2022(令和4)年度末時点）は、太陽光発電が118.9万kWであり、前年度と比べ、5.4万kW増加しています。また、コージェネレーション等の分散型電源が49.0万kW、廃棄物発電等が27.2万kWなどとなっています。



- (注) 1. 電気の排出係数は、2005～2007年度は一般電気事業者等（現行制度における小売電気事業者）に対して大阪府が行った調査等により、府内基礎排出係数を推計し、2008年度以降は同様の調査等による府内調整後排出係数を推計し、算定に用いた。
2. 四捨五入の関係で、各値の合計と合計値が一致しないものがある。

## 4-2 大阪府域におけるエネルギー消費量の推移



※PJ (ペタジュール) : エネルギー量の単位で、千兆(10の15乗)J(ジュール)のこと  
 なお、1 J(ジュール) ≒ 0.239 カロリーとなる。  
 例えば、0 °Cも水1リットルを100 °Cまで沸騰させるには、  
 418 kJ(キロジュール) = 418,000 J(ジュール)が必要となる。

### 4-3 府内の再生可能エネルギー等の導入実績

2022(令和4)年度末現在

種 類	府内の導入実績
太陽光発電	118.9 万kW (住宅用:55.4 万kW、非住宅用:63.5 万kW)
分散型電源(コージェネレーション等)	49.0 万kW (家庭用:5.7 万kW、事業用:50.4 万kW)
廃棄物発電等	27.2 万kW (うち、一般廃棄物による廃棄物発電:26施設 23.9 万kW)